

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-1-2		事業名	美味しいまちげんきなまち 食育推進事業
担当	保健福祉局保健所健康企画課 Tel 622-5151 加藤(由)			
全 体 計 画				
事業内容	育児において、「食」に関する悩みを持つ親が多くいることから、母親・子どもへの「食」応援団事業を行うとともに、食育を地域運動として広げていくために、食育サポーターの登録、食育情報の集約化、情報提供などを行う。		＜年度別の事業内容＞	
	1 母親・子どもへの「食」応援団事業 親子料理教室、マタニティクッキング教室	2 札幌市食生活指針推進事業 野菜摂取強化事業	【19年度】 1 母親・子どもへの「食」応援団事業 ・親子料理教室、マタニティクッキング教室 2 札幌市食生活指針推進事業 ・野菜摂取強化事業 【20年度】 1 母親・子どもへの「食」応援事業 ・食育サミット・健康料理フェスティバル開催、子ども新聞への情報提供 2 食に関する市民活動応援事業 ・食育サポーター登録制度、食育ホームページ開設 【21年度】 食に関する市民活動応援事業 ・食育サポーター事業の充実 【22年度】 食に関する市民活動応援事業	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	1 母親・子どもへの「食」応援団事業 640千円 ・美味しい朝食体験事業 委託費 (200千円) 食生活改善推進員協議会へ食育事業委託 各区区民センター等の会場で親子料理教室の開催 参加者:301人 ・マタニティクッキング教室 (440千円) 保健センター企画・会場は保健センター 開催回数62回、参加者753人	2 札幌市食生活指針推進事業 300千円 ・野菜摂取強化事業 ポスター350枚 (150千円) ・事業広告によるポスター作成 1,700枚 (0円) ・各区保健福祉部事業 (150千円) ・野菜販売店レシピ配布 20,000枚 (0円)	1 母親・子どもへの「食」応援団事業 (1) 食育サミット・健康づくりフェスティバル 300人 ・会場費 200千円、はがき代 22千円 (2) 子ども新聞への情報提供 事業予算 0円	2 食に関する市民活動応援事業 (1) 食育サポーター登録制度 0千円 (2) 食育情報の集約化 500千円 ・食育ホームページの開設
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	1 母親・子どもへの「食」応援団事業 (1) 「早寝・早起き・朝ごはん」推進運動 186千円 (2) 子ども新聞への情報提供 事業予算 0円 (3) マタニティクッキング教室 事業予算 400千円 保健センター企画 開催回数58回、参加者618人 (4) 親子料理教室の開催 事業予算 200千円	2 食に関する市民活動応援事業 (1) 食育サポーター登録制度 50千円 (2) 食育情報の集約化 100千円 (合計:936千円)	1 母親・子どもへの「食」応援団事業 (1) 「早寝・早起き・朝ごはん」推進運動 85千円 (2) 子ども新聞への情報提供 事業予算 0円 (3) マタニティクッキング教室 事業予算 525千円 (4) 親子料理教室の開催 事業予算 200千円	2 食に関する市民活動応援事業 (1) 食育サポーター登録制度 50千円 (2) 食育情報の集約化 100千円 (合計:960千円)
規模				
件数				
等				

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-1-2		事業名	美味しいまちげんきなまち 食育推進事業			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
食育サポーター登録者数(累計)		—	0人	193人	2,267人	2,367人	600人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加</p> <p>・地域で活動しているボランティア団体の食生活改善推進員協議会と連携し親子料理教室を開催している。その地区の親子が参加している教室であるため、参加者が地域のボランティア団体の活動を知る機会にもなっている。</p> <p>■企業等との連携・協働</p> <p>[資金協力] 21年度は企業の資金協力により「早寝・早や起き・朝ごはん事業」啓発のためのリーフレット作成、シンポジウム開催等が行われた。</p> <p>[人材協力] 調理師の優れた技術提供により、「健康料理フェスティバル」の内容の充実が図られた。</p> <p>[情報協力] 小学生の家庭に配布される民間事業者発行の子ども新聞(毎月10万部発行)に食育情報を提供し食育の啓発を行った。</p> <p>[その他の協力] パートナー協定企業のマスコットキャラクターに「食育特別大使」の任命を行い、企業と協働で食育の推進を図った。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p> <p>・食育のホームページに、食育推進計画の推進に係る市民活動や企業活動を掲載し、市民に広報する仕組みを作った。</p>							
評価(成果)				課題			
<p>1 子どもの食育に重点を置いた「札幌市食育推進計画」を平成20年9月に策定した。計画の柱である「北海道型食生活」の推進のために、平成21年9月に「私の北海道型食生活事業」を開始し、市民の活動を募集する仕組みを作り市民参加を促した。</p> <p>2 食育応援団体等として、講師の派遣などを行う食育ボランティア及び食育サポーター企業を募り、市民活用を進めた。</p> <p>3 環境に配慮した食生活を進めるために、ゴミの減量などに取り組む「もったいない運動」を平成21年10月から開始した。この事業に参加した企業等の活動の情報を集め、環境に配慮した食生活を進めた。</p>				<p>幼児期の食生活により味覚などの食嗜好が形成されやすいことから、子どもの時から食育を行うことが重要となっている。乳幼児の保護者への啓発は特に重要であるため、効率的・効果的な食支援の検討を図ることが必要となっている。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>○食育推進計画の推進のために、「北海道型食生活」を推進の柱に置き、関係団体・企業等と連携し推進する予定である。北海道型食生活は、米を中心とした栄養バランスの良いもので脂質の摂り過ぎを防ぐ食事であるため、子どもの時から脂質の少ない食生活を進め、生活習慣病の発症を予防した食生活を推進する。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-1-2			事業名	美味しいまちげんきなまち 食育推進事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	—	—	—	—	—				
	財源内訳									
	国・道支出金									
	市の債									
予算	事業費	1,600	622	586	960	3,768				
	財源内訳									
	国・道支出金	800	311	293	480	1,884				
	市の債	0	0	0	0	0				
実績	事業費	940	722	936	—	2,598				
	財源内訳									
	国・道支出金	470	361	468		1,299				
	市の債	0	0	0		0				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)					—			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度] 広告事業により事業費を節約した。										
[20年度]										
[21年度] 企業との連携により事業費の節約が図られた。										
[22年度]										